

※ニュースをメールで受け取り希望の方へ
件名に会員番号とフルネーム、本文に「ニュースをメールで受け取り希望」と
入れていただき、配信希望のアドレスから kodomo21@zb.ztv.ne.jp に送信を
お願いします。
又は右 QR コードを利用していただいても結構です。



昨年に続き、継続の書類は不要でそのまま継続されます。転居等で退会される方は退会届の提出をお願いします。



2024年度第2回提供会員養成講座終了

2/2、8、9、15、16 小俣農村環境改善センター

今回は新規での申し込みの方が多く、出席率も高く、前回からの補講の方も含め 8 人が新規登録されました。1 人は依頼会員の方が託児を利用し、両方会員になりました。

受講中は真剣にどの先生のお話にも耳を傾け、深くうなづく様子がうかがえました。
登録後も早速活動を開始していただき、頼もしく感じています。

次回日程は 8 月末から 9 月上旬にかけて予定しており、現在先生方との調整中です。今回も度会郡・大台町ファミリー・サポート・センターとの協働開催となります。会場は度会町と伊勢市に分かれますが、詳細が決まりましたらニュースや伊勢市広報でお知らせします。託児も無料でありますので子育て中の方
もご検討下さい。



2024年度第2回研修会終了

「チャイルドシート装着の確認」/「サポート時に被災したら」

3/2(日)9:30~11:00 伊勢市防災センター 参加 8 人

参加者より

チャイルドシート装着の確認では、チャイルドシートは乳幼児が装着するもので、小学生になったらチャイルドシートも卒業するものと思っていました。しかし、6 才を過ぎていても身長が 135cm に達していない場合、大人用のシートベルトは適切ではなく、身長 100cm 以上の子どもが使用する 10 歳まで対象のジュニアシートを装着することを初めて知りました。



小学校 4 年生の平均身長が男女共におよそ 134.5cm なので、4 年生までは車に乗るときはジュニアシートを装着することになりますが、小学校に上がると使用率も 2 割程度とかなり低くなるのが現状のようです。その原因として考えられるエピソードを提供会員の方が披露されました。小学生の子どもをジュニアシートに乗せようとしたところ頑なに拒絶し、大声で泣きだして大騒ぎになったそうです。提供会員の方曰く、周りにいた人からは「自分はまるで人さらいのように見られた。」とおっしゃっていました。小学校に入学したことで、自分はひとりでなんでもでき、もうチャイルドシートは必要ないという子どもながらのプライド感で拒絶していたようです。

チャイルドシートを使用していないと、衝突時に頭がドアに打ち付けられ頭部損傷のおそれがあります。また致死率も付けていないときは、付けているときの5倍にもなります。お子さんの命を預かるファミサポとしては135cmまではジュニアシートを装着します。お子さんが素直にジュニアシートの装着を受け入れ、お子さんの命を守るためにも保護者の方に日頃からファミサポと同じ共通認識をもっていただくことが大切かと思いました。



JAF ホームページ

次に、伊勢市防災コーディネーターの中川真由美さんから『もし、サポート中に大きな地震が起こったら』というテーマでお話をお聴きしました。

南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率が80%程度に引き上げられ、いつ起きてもおかしくない状態です。特に伊勢地区は、海も川もある土地なので甚大な被害が想定されます。大地震が起きたとき、家の中の家具は動く、飛ぶ、倒れる、そして割れて、凶器と化してしまうということでした。提供会員は家具が凶器とならない安全部屋を作って、お子さんを預かりますので、私も日頃の予防策を怠らず安全点検に努めようと思いました。

幼いお子さんを預かる保育園や幼稚園で実践されているという激しい揺れからお子さんを守るダンゴ虫のポーズも教えていただきました。家庭内で激しい揺れを感じたら安全な場所に移動し、「ダンゴ虫」とお子さんに声掛けして、素早く一緒にダンゴ虫の体勢になります。最寄りの避難場所にお子さんと一緒に移動する際、幼いお子さんを安全に移動するためには抱っこひもが一番いいということになりましたが、提供会員一人一人が常備するのは難しいので、お子さんを預かる際、抱っこひもも一緒に預かることが提案されました。



安全に避難した後、保護者に安否を知らせる伝言ダイヤル171にメッセージを残すために、お子さんの名前・住所・電話番号を書いた紙を常に携帯する必要があると感じました。また毎月1日と15日に171に電話をすると、シミュレーションができるシステムがあることを知り、私も一度挑戦をしたいと思います。

災害時にあわてないためにも、日頃からの備えが大切であり、依頼会員の方とも災害時に関しての話し合いが必要だと感じました。

今回の研修に参加して、初めて知ったこともたくさんあり大変勉強になりました。研修後、家に帰ってすぐに避難リュックの中身を点検したり安全面での見直しをしたり、日頃の備えに関して今一度考える機会も与えていただいたことに感謝します。ありがとうございました。

提供会員 小柳和可



NTT 東日本

.....

防災士の方のリアルな話が聞けて、身に詰まる想いになりました。防災グッズを買ってあっても、知識のアップデートも必要だし、自分の行動範囲によっても新たな知識が必要であったり、防災は本当に意識の問題だと痛感しました。大切な命を預かる事に対してできる限りの予防策が必要で、実際にたくさんのお子さんを預かっている経験がある方の話もとても参考になりました。

提供会員 玉村



学びサポーターへの研修会(児童養護施設入所児童への学習支援事業)

参加者より

増田先生の『明日につながる』お話は、共感することが多くありました。なかでも一番そうなんだと思ったのはこのことでした。

こどもたちが知りたい事「わたしが存在する理由」「わたしは、生きてていいの」

「いいんだよ。そのままでいいんだよ。」

「あなたを見ているわたしを見てね。あなたは一人じゃないんだよ。」

絵本「ふたりはともだち」の中のお話し『おてがみ』の登場人物がまがえるくんとかえるくんの関係、お手紙が、まがえるくんに配達されるのを二人で待っている間の幸せな時間。

「寄り添う」というのは、こういう事なんだと思いました。

「寄り添う」のは難しいけど、隣にいただけでいいんだと思いました。

森本



子どもの権利条約

第26条

- 1 締約国は、すべての児童が社会保険その他の社会保障からの給付を受ける権利を認めるものとし、自国の国内法に従い、この権利の完全な実現を達成するための必要な措置をとる。
- 2 1の給付は、適当な場合には、児童及びその扶養について責任を有する者の資力及び事情並びに児童によって又は児童に代わって行われる給付の申請に関する他のすべての事項を考慮して、与えられるものとする。



子どもの権利条約は、子どもが生きる・育つ・学ぶ・社会参加することを保障するものであるとうたわれています。当たり前のように思いますが、中には保障されていない児童もたくさんいます。

北欧などでは、国が子どもを育てることと考え、子どもの成長が見守られています。

日本では保護者が育てて当たり前という考えで、国が口を出すものではないと考えています。しかし、社会にはいろいろな家庭があり、子どもの育児や保障の考え方がまちまちで、それぞれ個人の家庭内の問題なので見えにくくなっています。そのため子どもに何か事が起きるまで分からず、慌てて対応することになります。

今ようやく、子どもの権利や子ども目線、子ども中心などと言われるようになりました。やっとという感じが、これを機に子どもは「生きる・育つ・学ぶ・社会参加する」ことを保障された中で成長してほしいと思います。

社会保険に関して言えば、24条で「到達可能な最高水準の健康を享受すること並びに病気の治療および健康の回復のための便宜を与えられることについての児童の権利を認める。締約国はいかなる児童もこのような保健サービスを利用する権利が奪われないことを確保するために努力する」とあり、26条では社会保険の面からも保障をされています。

虐待家庭の中には病気でも虫歯でも治療をうけさせない保護者もいます。保護者が受けさせなくても子どもの権利を保障するには、保護者以外の大人がそれを保障する必要があります。そのために「自国の国内法に従いこの権利の完全な実現を達成するための必要な措置をとる」ことを国がどう進めていくのかが問われます。

倉木



いろいろお知らせ

♪ **大杉谷自然学校プログラム紹介** 事前に申し込みが必要です(参加費あり) ⇒ HP:<https://osugidani.jp/>

◎おおすぎっ子クラブ

日程 : 5/31(土) 宮川で魚釣り♪ 6/14(土) 森のカエルを見に行こう! 9/27(土) 久豆の滝探検
時間 : 10:30~15:00 **対象** : 小学生と小学生以上の家族 **定員** : 30人 **参加費** : あり
集合解散 : 大杉谷自然学校

◎おおだい森のようちえん

日程 : 5/17(土)、9/6(土)、11/8(土)、R8/1/17(土) 4回通して参加
時間 : 10:30~14:30 **対象** : 4才~6才の子どもとその家族 **定員** : 40人 **参加費** : あり
集合解散 : 子ども王国(大台町栃原 459) 天候により変更あり

◎わくわく宮川デイキャンプ

日程 : 7/29(火) **時間** : 10:40~18:10 **対象** : 小1~中3 **定員** : 30人 **参加費** : あり
集合 : 道の駅奥伊勢おおだい 9:30 JR 三瀬谷駅 9:50 大杉谷自然学校 10:40
解散 : 道の駅奥伊勢おおだい 19:15 JR 三瀬谷駅 19:00 大杉谷自然学校 18:10

◎わくわく宮川キャンプ 1泊2日

日程 : 8/5(火)~6(水) **時間** : 1日目 10:40~2日目 13:20 **対象** : 小1~中3
定員 : 30人 **参加費** : あり
集合 : 道の駅奥伊勢おおだい 9:30 JR 三瀬谷駅 9:50 大杉谷自然学校 10:40
解散 : 道の駅奥伊勢おおだい 14:35 JR 三瀬谷駅 14:15 大杉谷自然学校 13:20

◎大杉谷エコツアー

日程 : 5/24(土) 座布団グライダー?! ムササビを観察 16:30~20:00
⇒解散集合 : 宮川生活改善センター
7/26(土) 夜の昆虫ライトアップ! 18:30~21:00 ⇒解散集合 : ホタルの里公園跡地
8/9(土) 宮川源流で川遊び! 10:00~15:30 ⇒解散集合 : 大杉谷自然学校
対象 : 一般、中学生以下保護者同伴 **定員** : 20人 **参加費** : あり

◎山☆川Kids! in大杉谷「清流で遊ぼう」

日程 : 4/27(日)、29(火祝)、5/5(月祝)、7/20(日)、8/2(土)
時間 : 13:00~15:30 **対象** : 家族 **定員** : 30人 **参加費** : あり
集合解散 : ホタルの里公園跡地 **共催** : 大台町生物多様性協議会



♪子ども服のリサイクル交換コーナー(無料)常設中 (もらっていくだけでもOKです!)

♪毎月11日はイオンのイエローレシートの日!! (イオン伊勢店の三重みなみ子どもネットワークのBOXにイエローレシート入れて下さいね<m(_)>m) マックスバリュラパーク店の登録は終了しました。

♪チョコレート・カテキン茶・乾燥あげ・こんにやくも買っていただくことでチャイルドラインへの寄付金になります! ご入用の方はみんなネット事務所までお問合せ下さい。



《随時発行》 いせファミリー・サポート・センター

〒516-0037 伊勢市岩渕 2-3-13 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク(みんなネット)内

TEL : 0596-28-5692 FAX : 0596-28-5679

e-mail kodomo21@zb.ztv.ne.jp



メール



ホームページ